



<p><b>1. 利用の概略</b></p> <p>1) 利用目的・内容 第一原理バンド計算プログラム PHASE の開発、デバッグ。</p>
<p>2) 利用意義 当社独自で多くの CPU コアを準備することは難しく、大規模もしくは高並列のケースで発生する不具合などの対応に利用意義がある。</p>
<p>3) スーパーコンピュータを利用する必要性 通常のパソコンやクラスターでは対応しきれない、大規模な系の解析を実行したい場合に必要。</p>
<p><b>2. 成果の概要</b></p> <p>1) 今後得られるであろう成果の見通し 上述の PHASE プログラムが、特に大規模系の計算において現状よりもロバストなコードとなることが期待できる。</p>
<p>2) 社会・経済への波及効果の見通し ※パーソナルコースを利用された企業の方およびグループコース（企業利用）の場合のみ記入 直ちに波及効果は見えないが、シミュレーションを活用しようとする動きは活性化してきている。材料関連でも基礎研究ではシミュレーションが活用されており、長期的には社会に貢献できると考えている。</p>
<p>3) その他の成果 特になし。</p>

※記入の際は各項目の枠内に収まるように記入してください。補足資料を付加することは可能です。